

南中生のいい話 ①

ある日、道路上で自転車でスクートの裾を巻き込み、動けなくなって困っている女性がいました。それに気付いた2年生の女子4人が走って駆け寄り、「大丈夫ですか?」「お急ぎですか?」「スクートの裾を切ってもいいなら、ハサミを持っているのできりますけど…」などと声をかけながら、女性を気遣ったそうです。

女性は、大切な人と待ち合わせをしていたらしく、南中生にスクートの裾を切ってもらい、自宅に戻ってスクートを履き替えた後、無事に待ち合わせ場所に行けたそうです。

2021.04.09

(感謝の電話が学校にありました。)

